

令和元年 11 月 21 日
公益財団法人全国競馬・畜産振興会

令和元年度 JRA 畜産振興事業に関する調査研究発表会
各講演に対する参加者のご感想について

以下のご感想は、発表会当日に行った参加者へのアンケート結果からの抜粋です。

1. 未来の畜産女子育成プロジェクト

～女子高校生と共に育む、これからの畜産～

公益社団法人 国際農業者交流協会 派遣業務課長 皆戸 顕彦
栃木県農業大学校 畜産経営学科（1年） 糸川 夏海

本講演には、研修を受けた「女子（若者）」が畜産アンバサダーとして活動することは意義深い、将来若い世代が畜産に興味を持ち就労することに期待したい、畜産の担い手を育成する取組みとして有効であるなどのご感想をいただきました。

そのほか、研修先としてなぜニュージーランドなのか、短期でなく長期又は継続して取り組むべき、女子の就労が特別なものでなく男子も含めた若者全体を対象とするべきなどのご意見をいただきました。

.....

2. 自然と共生する馬搬の振興

～木材の搬出など由来馬の活用にもむけて～

一般社団法人 馬搬振興会 代表理事 岩間 敬 理事 尾立 愛子

本講演には、「馬搬」を初めて知り素晴らしい取組みと思った、環境保全の一環として馬搬は有効であり技術の継承が必要である、本技術を普及啓発し将来継承者が増えることを期待するなどのご感想をいただきました。

そのほか、コスト的に成り立つのか経済的分析が必要、実用化したいのか文化として保存したいのかわからない、由来馬保存は飼養管理技術のほか有効な活用方法を考え実行していくべきなどのご意見をいただきました。

.....

3. 豚部分肉自動脱骨装置の開発

～X線とAIを搭載した食肉産業ロボットで築く新時代～

食肉生産技術研究組合（組合員）

株式会社ニッコー 営業本部 常務取締役 及川 寿恵男

本講演には、AIによる装置の自動化に伴う効率化や省力化に期待したい、商業ベースとして実用化が期待できる開発である、実際の作業が動画で見られてわかりやすかったなどのご感想をいただきました。

そのほか、実用化に当たっての具体的な導入コストが不明である、X線による放射線に対する取扱い者の配置・管理の必要性などのご意見をいただきました。

.....

4. 移動式搾乳機（mMMP）の開発

～小規模放牧に適した低コスト搾乳システム！～

公益財団法人 農村更生協会

八ヶ岳中央農業実践大学校 校長 清水 矩宏

本講演には、搾乳は決められた場所で行うという固定観念がなくなり酪農における放牧の活用が見直される、低コストの搾乳が実現されそう、災害による停電など不測の事態に緊急対応できそうなどのご感想をいただきました。

そのほか、小規模酪農に限られるのでは、実用化に向けての具体的なコストについて、舎飼の搾乳データを比較した効果検証が不明などのご意見をいただきました。

.....

5. 人工授精の受胎率向上技術の開発

～牛の受胎率向上に、種雄牛側から挑む～

一般社団法人 家畜改良事業団

家畜改良技術研究所 技術開発部開発第1課 専門役 絹川 将史

本講演には、専門的な内容であるが説明が分かりやすかった、低受胎種雄牛の判別につながる SNP 型を特定できたことなど成果について理解できた、本研究により今後の受胎率向上が期待できるなどのご感想をいただきました。

そのほか、内容が専門的すぎて難しかった、今後の研究成果についてもフィードバックしてほしい、低受胎となる原因は何かなどのご意見をいただきました。

.....

6. 黒毛和種における地方病性牛白血病（EBL）清浄化モデルの開発
～静かに深刻化する牛白血病への農場ぐるみでの取組み～
国立大学法人 岩手大学
附属動物医学食品安全研究センター 教授 村上 賢二

本講演には、清浄化が必要な EBL に対し有意な調査がなされ補助制度のモデルまで考察されており価値が高いと思った、EBL 感染の影響と将来の取組みがよくわかった、清浄化の道筋が明確に示されたなどのご感想をいただきました。

そのほか、今ひとつ調査の設計や実施、評価のプロセスについて理解しづらかった、清浄化対策には個別農家での協力・取組みが必要であり農家に理解させる活動が必要と思うなどのご意見をいただきました。